気まぐれ ながの情報

第１６号
発行者
荒井忠幸
〒３８９-１１０３
長野県長野市
豊野町蟹沢１１７９
TEL&FAX:026-257-3461
http://www.janis.or.jp/users/chu798/

特集 オーストラリアのりんご事情 現場編

赤い大地、オーストラリア。日本の22倍の国土に、人口が僅かに２０００万人。うち、約25％の人々が他国からの移民で構成されている。そして年間、30万トンのりんごを生産している国でもある。

今号では、オーストラリアの現状をリポートする。

【りんごの種類と世界の動き】

世界の主なりんご生産国は、自国内マーケットのリフレッシュと国際競争力の強化という観点から新品種を積極的に導入して行こうという気概に満ちている。また、新品種の育成権利や国益などを守るため、いわゆる「クラブ制」を導入する傾向が顕著である。

こういった世界情勢の中で、日本では有力な品種が少ないということや生産者の高齢化、「贈答には『ふじ』」という習慣とも相まって、なかなか新品種への移行が進んでいないのが現状である。

クイーンビクトリアマーケットのピンクレディー

【視察農場の特徴】

@モンタギュー農場

オーストラリアでも有数の会社で、国内５ヶ所に農場があり、面積は１，２００ha。２ヶ所の選果場に１２０人もの従業員。近隣に住む人を雇い、賃金は時給、約１，５００円。品種構成は、ガラ40％、ピンクレディー（ＰＬ）30％、レッドデリシャス（ＲＤ）20％、ふじ10％であった。

また、ニュージーランドの新品種「ジャズ」の独占栽培契約をオーストラリアで唯一結んでいるのがこのモンタギュー農場である。現在、苗木を委託生産中とのことだった。

@フレミング苗木商

年間生産本数１００万本（うち50％がりんご）を誇る大手の苗木商。苗木の値段は１本10豪ドルほど。海外における苗木の基準は厳しく、フェザー（枝）が一定基準以上着いていないと出荷できないことになっている。

カール農場の防雹ネット

また、モンタギュー農場の委託により、ジャズの苗木を独占的に生産していて、今年は１万４０００本を生産するという。

@バットロー生産組合

オーストラリアのりんご生産の10％を占める産地で、50戸の農家が集まって出来た組合。また、85年前に南半球で始めて設立された生産組合でもある。政府などからの一切の援助を受けたことがないと誇る。

ＲＤ35％、ふじ25％、ガラ20％、ＰＬ15％、ブレーバーン10％であった。

ここオーストラリアでは、まだまだＲＤが幅をきかせていたのが印象的だった。

@ジョン・カール農場

オーストラリアのりんご園のその殆どには、上段中央の写真にもあるような防雹ネットが一面に張り巡らされていた（写真の園地は、一枚の畑で３５０ｍ＊１，０００ｍもある）。これは、その名の通り雹からりんごを守るために設置されており、この農場では、１haで５００万円ほどの設置費用がかかったという。

一見、余分な経費がかさんでしまったかに見えるこの投資も、直射日光によるりんごの日焼け防止にも効果があるということがわかってからは、

着色されたより効果的なネットに切り替える動きがあるようだ。このような着色ネットは他の農場で多数、見ることが出来た。（写真／上段左上）

@ビックス農場

35人の生産者が集まって出来た選果場がある。ふじの生産も多く、「ミスターＦＵＪＩ」という日本の関取をイメージしたキャラクターを使って販売宣伝をしている。

西オーストラリアに位置するこの農場では、りんごの価格が安く、アボガドの価格が高いことから、その生産を増やす方向で検討しているとのことだった。

@モンジマップ試験場

りんごを主に、プラム、カリフラワー、レタス、ポテトの試験をしていた。日本の「伊藤園」から日本向けのお茶の栽培試験を委託されていた。

また、ここにはピンクレディーの原木があり、他の兄弟品種と共に大切に管理されていた。

「はるかぜ」

やっとの思いで今号を仕上げた。今回は、レポート形式で書いてみた▼というよりは、新聞形式ではとても収まり切れなかったからというのが実情である▼試行錯誤の末に書き終えてみて、たまにはこういったカタチも面白いと感じた次第▼決まり切った形を追うばかりでなく、たまには遊び心も交えて柔軟に対応してみることで世界が広がるということを知った。

１／　５（木）中部国際空港よりシンガポールへ
１／　６（金）シンガポール経由でメルボルン着
１／　７（土）スーパーマーケット
　　モンタギュー農場
　　フレミング苗木商
　　動物園見学。アルブリー泊
１／　８（日）バットローフルーツ選果場
　　スマート氏農場。マーケット
　　バットロー農家と昼食会。シェパートン泊
１／　９（月）ジョン・カール農場
　　ジェフリー・トンプソン農場
　　モンタギュー農場
　　ジョン・ダーハム氏農場視察＆ＢＢＱ。
　　飛行機でパースへ。パース泊
１／１０（火）ブンブリーにて野生のイルカを見る
　　モンジマップ試験場。パース泊
１／１１（水）終日自由行動
１／１２（木）半日自由行動。パース発シンガポールへ
１／１３（金）シンガポール経由、中部国際空港着